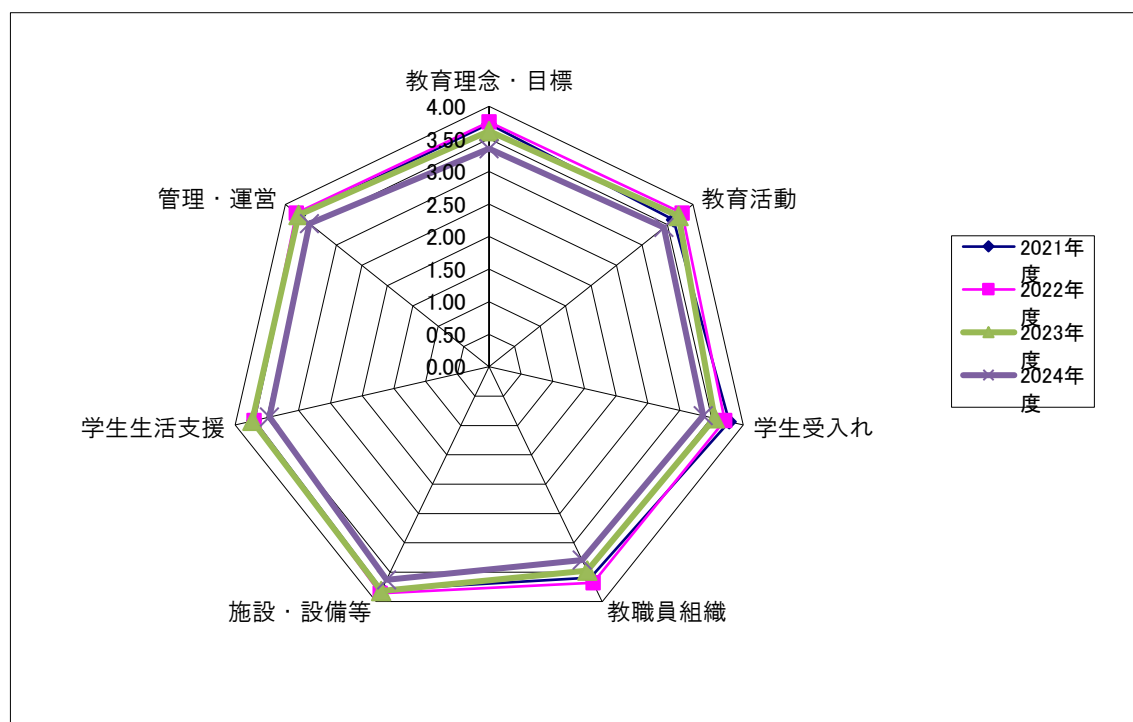


2024年度 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 自己点検・自己評価

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教育理念・目標	3.73	3.76	3.62	3.35
教育活動	3.62	3.79	3.72	3.43
学生受入れ	3.78	3.71	3.55	3.37
教職員組織	3.59	3.68	3.47	3.29
施設・設備等	3.80	3.86	3.82	3.63
学生生活支援	3.70	3.70	3.73	3.46
管理・運営	3.74	3.79	3.74	3.53
平均(4点満点)	3.71	3.76	3.66	3.44



総合評価

2024年度の本校自己点検・自己評価の結果を過去3年平均と比較したところ、7項目すべてにおいて点数が減少したが、年度による取り組みの差が出にくいと思われる項目1「教育理念・目標」においても同様の結果が出ていることから、今回の全体的な点数の減少は、評価者による評価基準の変化が大きく影響していると考えられる。そのような中、特に低い評価となったのは、昨年同様「学生受入れ」と「教職員組織」である。「学生受入れ」の小項目3-6「志願者状況、定員充足率はどうか」は3年連続2点台で下降を続けている。OTのみならずPT、ST学科がともに3年連続で定員割れを起こしていることが最大の要因であろう。また、「教職員組織」の小項目4-1「専任教員は指定規則・設置基準等を満たしているか」と4-6「職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか」では、OT学科で1名の欠員が続いていること、PT学科では指定規則は守られているものの、戦力に乏しい教員が含まれていることもあり、学生支援の質と量を保つには不十分であるということが低評価の要因と考えられる。また、2年連続で3.8以上の高評価であった「教育活動」の小項目2-9「目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか」では点数の伸び悩みが見られたが、フォローアップ体制は年々強化していることを考えると意外な結果と思える。一方、「施設・設備等」と「管理・運営」は安定して高評価を継続している。

3学科共に学生募集停止（閉校）が決定した中、最終学生が卒業するまで可能な限り良好な教育体制を図って行けるよう、全教職員が協力して学校運営を行う必要がある。